



西合志南小学校だより

西南小の風



令和8年 2月 5日
第13号
文責 西村 英一

【校訓】明るく かしこく たくましく

学校教育目標：主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成

地域の方々との懇談会

1月20日、民生委員さん方と地域学校協働活動推進員さんが来校されました。民生委員さん方や地域学校協働活動推進員さんには、日頃より子供たちの地域での安全安心な生活を支えていただいています。また、時には学校の授業などへのご協力もいただいています。1月30日には、学校評議員さんにも来校していただきました。学校評議員の方々にも日頃より学校の様子を気にかけていただいています。みなさん、とても心強い存在です。



両日とも低学年・中学年・高学年の授業を参観していただきました。

授業を見ていたい後は、意見交換会を行いました。民生委員さんや地域学校協働活動推進員さんからは、授業で、子供たちが自分の考えを筋道立てて話す姿や年下の子供たちを思いやる意見述べる姿をほめていただきました。学校評議員の方々からは、学力の状況、授業の進め方、タブレットパソコンの活用状況について感想やご意見をいただきました。タブレットパソコンを使いこなす子供たちの様子に感心されていました。

火災発生に備えた避難訓練

1月27日、避難訓練を行いました。想定は理科室での火災発生でした。

全校児童の避難完了後の人数確認までに要した時間は、4分28秒でした。運動場に避難してからの消防署の方からのお話でも、速やかに運動場に避難して整列できた姿をとてもほめていただきました。その後は、消火訓練を行いました。代表として挑戦した子供たちは、消火器（練習用）を正しく操作し的（火点）に当てることができました。避難訓練の最後には、お礼の言葉を別の代表の子供たちが述べました。お礼の言葉から、火事の恐ろしさをしっかりと学ぶことができたことが伝わってきました。



全国的に建物火災や山火事のニュースが多い状況が続いている。火遊び等は決して行わないようにご家庭でも子供さんにお話しください。



「非認知能力」を高める関わり方⑥（最終回）

第14回合志市ことは作品コンクール表彰式が開催されました。合志市の小・中学校では、児童・生徒が「ことば」について考え、ことばを大切にしながら生活できるよう「ことば教育」に取り組んでいます。

本校では、元アナウンサーの方を講師にお招きし、声の出し方、俳句、朗読などを学年の発達段階に応じて指導していただいている。また、放送委員会にも指導をいただいている。その効果もあり、放送委員会の放送はとても聞き取りやすく「上手だなあ。」といつも感心しています。



また、合志市ことは作品コンクールの入賞作品から、合志市の小・中学校の子供たちに「ことば教育」を通して「非認知能力」のコミュニケーション力（共感力）や創造力が高まっていることを感じました。

入賞した作品のいくつかを紹介します。

- 【 「ずっと いっしょだよ。」ママのことば、心にのこっているよ。】
- 【 ないたら きいてみようよ あなたのきもち】
- 【 「あしたもがんばろう。」げんきになるまほうのことば】
- 【 「いっしょにあそぼう。あしたもね。」あしたがくるのがたのしみだ】
- 【 ごめんなさいと言うと心がおさまるいい気持ち】
- 【 「大丈夫？」その言葉で「心」がはっとした】



※ 氏名は個人情報保護のため掲載いたしません。